

EYについて

EYは、アシュアランス、税務、トランザクションおよびアドバイザリーなどの分野における世界的なリーダーです。私たちの深い洞察と高品質なサービスは、世界中の資本市場や経済活動に信頼をもたらします。私たちはさまざまなステークホルダーの期待に応えるチームを率いるリーダーを生み出していきます。そうすることで、構成員、クライアント、そして地域社会のために、より良い社会の構築に貢献します。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバル・ネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。詳しくは、ey.com をご覧ください。

EY Japanについて

EY Japanは、EYの日本におけるメンバーファームの総称です。EY新日本有限責任監査法人、EY税理士法人、EYトランザクション・アドバイザリー・サービス株式会社、EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社などから構成されており、各メンバーファームは法的に独立した法人です。詳しくはwww.eyjapan.jp をご覧ください。

© 2018 EY Japan. All Rights Reserved.

ED none.

本書は、一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務及びその他の専門的なアドバイスをを行うものではありません。EYジャパン合同会社及び他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

www.eyjapan.jp

Entrepreneur Fact Book

EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー
2018 ジャパン

Founded and produced by



Building a better
working world

Contents

- 01 ご挨拶
- 03 審査委員長より
- 04 EY Entrepreneur Of The Year 2018 Japan 候補者
- 06 Master Entrepreneur Of The Year 部門
- 10 Exceptional Growth 部門
- 22 EY Entrepreneur Of The Year 歴代ファイナリスト一覧
- 28 EY Entrepreneur Of The Year 過年度受賞者からのメッセージ
- 30 審査委員

ご挨拶

1986年にEYが創設したEY Entrepreneur Of The Year(以下、EOY)。新たな事業領域に挑戦するアントレプレナーの努力と功績、その事業を通じて経済や社会にもたらした素晴らしい貢献を称える世界的なプログラムとして、これまで多くのアントレプレナーから好評を博してきました。そんなアントレプレナーたちの活躍は今、急激なスピードで進むデジタル化とグローバル化の中で、ますます注目されるようになっていきます。

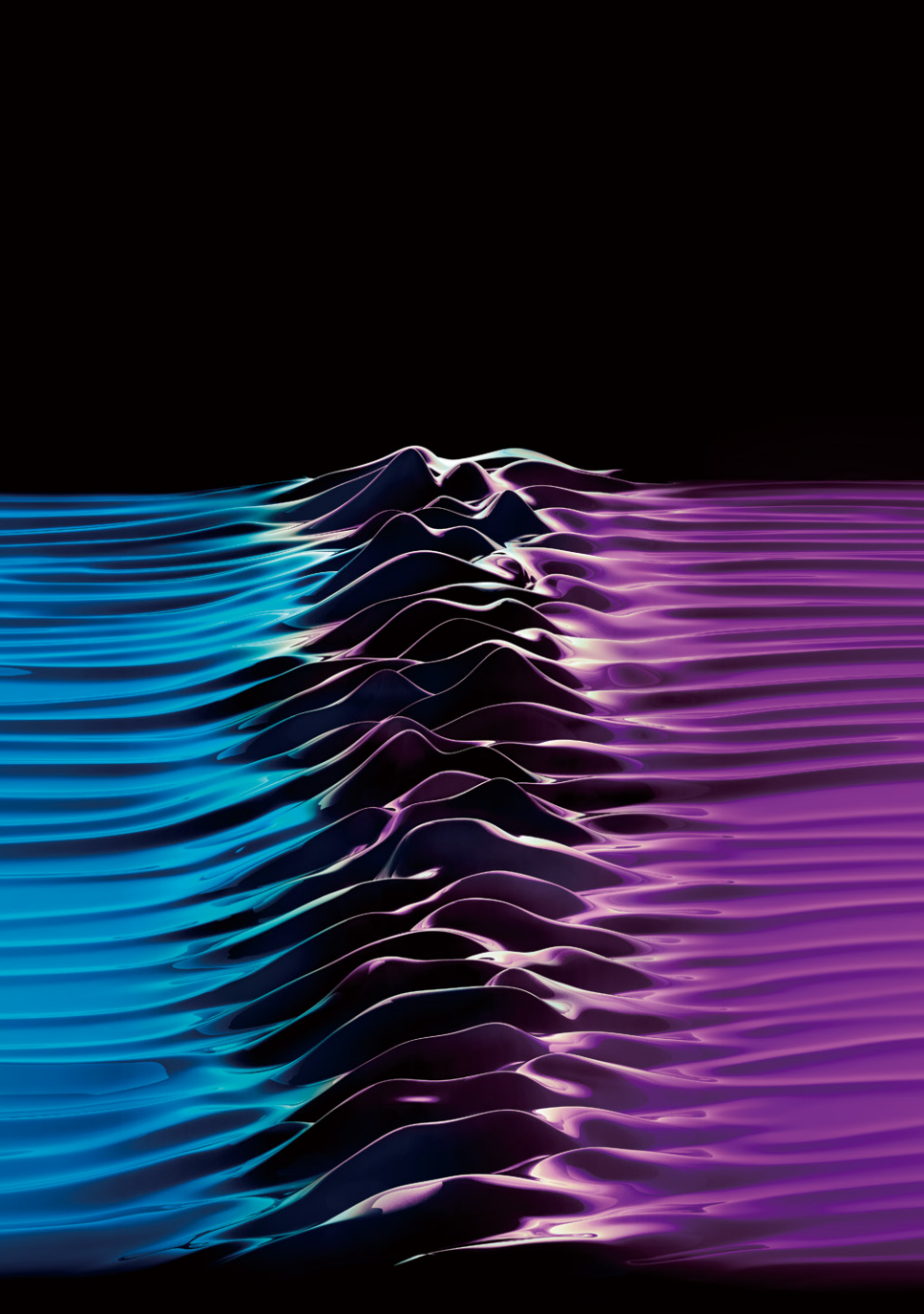
今年、EYでもJapanエリアとAsia-Pacificエリアの統合が決定し、2019年7月1日に新生EY Asia-Pacificが誕生することになりました。私たちEY Japanは23カ国が参画するアジア太平洋地域において最大の事業拠点となり、日本からアジア太平洋地域へ、さらにアジア太平洋地域からグローバルへと展開を加速するアントレプレナーを含む日本企業に、よりスピーディーかつ充実したグローバルサービスを提供することを目指していきます。

私たちEY JapanはEOYの活動を通じて、今後もアントレプレナーへの支援を行っていきます。イノベーションを起こし、新しい産業や雇用創出を生み出すアントレプレナーの活躍にスポットライトを当てることで、アントレプレナーが今後も次世代のロールモデルになることを期待しています。

今年もさまざまな事業分野から、社会に対して革新的な価値をもたらした活躍されているアントレプレナーの皆さまを、日本代表候補者としてご紹介いたします。アントレプレナーの皆さまをはじめ、EOY Japanの表彰式にご参加いただくすべての皆さまにとって、新たなネットワークおよびビジネスチャンスを生み出すきっかけといただければ幸いに存じます。

EY Japan Area Managing Partner, **Scott K. Halliday**
EY Japan Country Managing Partner, **辻 幸一**





クオンタムリープ株式会社
代表取締役 ファウンダー&CEO
出井 伸之 氏

EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパンの活動に寄せて

本年も、EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパンの時期がきた。今年はどんなアントレプレナーたちが登場するのか、これからとても楽しみだ。
今年も振り返ってみると、さまざまな分野で大きな変化が起きているように感じる。

例えば、多くの企業にとって、ますます「データ」がビジネスの核になってきた。
戦後の日本企業が大量生産で成長したような時代は終焉し、インターネットを介してユーザーのデータを集め、活用することが経営の基盤に置かれている。
それはすなわち、大衆・マスのニーズに応える時代は完全に終了し、「個」のニーズにいち早く応える企業が生き残る時代となったのだ。

企業の成長のためには「ヒト・モノ・カネ」が必要という広く日本で唱えられてきた成功法則から一歩進化し、それに加えて、いかに「データ」を活用するかが鍵となる。そのためには、AIを活用し、データ解析、分析をすることがどの企業にも求められている。

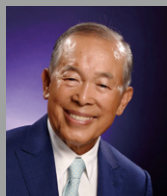
今、AI・IoT・ブロックチェーン等の技術群によるネクストパラダイムが目前に迫っているが、これは起業家の皆さんにとっては大きなチャンスだ。
変化の時代だからこそ、新たなアントレプレナーが活躍する場が拡がり、新たなヒーローが生まれるのである。
日本を生まれ変わらせるには、そういったアントレプレナーたちの存在が不可欠だ。

今回のEY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーでも、そんな未来を念頭におきながら、変化の時代を楽しむ起業家たちと、ポジティブな議論ができることを楽しみにしている。

Master Entrepreneur Of The Year 部門



栗田 貴也 氏 7p
株式会社トリドールホールディングス



齊藤 寛 氏 8p
株式会社シャトレゼホールディングス



矢野 博丈 氏 9p
株式会社大創産業

Exceptional Growth 部門



岡村 恒一 氏 11p
株式会社オカムラ食品工業



木村 隆夫 氏 12p
木村情報技術株式会社



重道 泰造 氏 13p
株式会社アイگران



白石 徳生 氏 14p
株式会社ベネフィット・ワン



土橋 秀位 氏 15p
株式会社クロスフォー



名越 達彦 氏 16p
株式会社バネイル



樋口 龍 氏 17p
株式会社GA technologies



藤田 哲也 氏 18p
株式会社カンディハウス



松浦 信男 氏 19p
万協製菓株式会社



山本 富造 氏 20p
山本化学工業株式会社



吉松 徹郎 氏 21p
株式会社アイスタイル

部門別氏名50音順

Master Entrepreneur Of The Year 部門

- ▶ 業界や市場を代表する存在
- ▶ すべてのアントレプレナーのロールモデルとなる存在
- ▶ 海外で企業活動を展開し、グローバルな影響力を有する
- ▶ ビジネスモデルの競争優位性・技術力・マーケティング力が国内外で注目されている

世界で食の喜びを提供するグローバル企業

栗田 貴也 氏

株式会社トリドールホールディングス

代表取締役社長

〒651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通七丁目1-1 日本生命三宮駅前ビル11階

<http://www.toridoll.com/>

店内調理した「手づくり・できたて」の食事を提供することにこだわった外食企業グループを経営。また近年、自社による新業態開発に加えて、M&Aで自社では開発できない魅力を持った他社開発業態もグループに加わり、2018年9月末時点で世界39の国と地域で1,605店舗（国内1,056、海外549）を運営。



Awata Takaya

1961年10月神戸生まれ。兵庫県立加古川東高等学校卒業。神戸市外国語大学中退。学生時代のアルバイト経験を通じて飲食業の魅力に目覚める。1985年、焼鳥店「トリドール三番館」を創業。近年は讃岐うどん専門店「丸亀製麺」を中心に店舗を展開し、2011年4月には丸亀製麺の海外1号店をハワイ・ワイキキに出店する。現在、国内外において約1,500店舗以上を展開。

TORIDOLL→



日本品質のお菓子で世界のお客様を笑顔に。

齊藤 寛 氏

株式会社シャトレゼホールディングス

代表取締役会長

〒400-1593 山梨県甲府市下曽根町3440-1

<https://www.chateraise.co.jp/>

シャトレゼグループは国内520店、海外8ヶ国・地域に60店を展開する菓子事業を中心に、ワイナリー、リゾートホテル、ゴルフ場、スキー場を運営。社は「三喜経営」を基本理念とし、上質な商品とサービスをリーズナブルな価格で提供し、世界中のお客様に笑顔あふれる豊かな暮らしをお届けしている。



Châteraisé

シャトレゼ



Hiroshi Saito

1954年 焼き菓子店「甘太郎」を出店・創業
1964年 大和アイス(株)設立、代表取締役に就任
1967年 上記2社を合併、(株)シャトレゼ設立、代表取締役に就任
2010年 (株)シャトレゼホールディングスを設立 家業の企業経営を実現すべく若い人材に経営を移譲し、(株)シャトレゼを始めとするワイナリー、ホテル、ゴルフ場等を傘下に置くホールディング制を創設、代表取締役に就任
2018年 代表取締役会長に就任

生活のインフラ 安くて便利で楽しいお店

矢野 博丈 氏

株式会社大創産業

創業者

〒739-8501 広島県東広島市西条吉行東1-4-14

<https://www.daiso-sangyo.co.jp/>

国内約3,300店舗 海外27カ国に約2,000店舗「DAISOダイソー」を出店。取扱い商品は約70,000アイテム、毎月800アイテムの新商品を開発し、その99%がPB。今でも年間150店舗を超える出店を続け、今では生活インフラとして評価もいただき、業界売上シェアは56%。



Hirotake Yano

1943年 中国 北京生まれ
1967年 中央大学理工学部二部を卒業
1972年 矢野商店を創業
1977年 (株)大創産業として法人化
1991年 直営店1号店OPEN
2001年 海外一号店を台湾にOPEN
2012年 自社物流センター埼玉RDC稼働(現在8拠点でRDC稼働)

Exceptional Growth 部門

- ▶ 著しい成長をとげた、あるいは成長途上であり、今後さらなる成長が期待されるアントレプレナー
- ▶ 事業を成功に導き、注目度が高まっている、あるいは注目されている存在
- ▶ 後進のアントレプレナーのロールモデルとなる存在
- ▶ 海外で一定の影響を有している、又は海外へ展開・拡大を予定している
- ▶ 革新的な技術やビジネスモデルによって事業を展開している

水産業の成長産業化 ～持続可能な開発を地方から～

岡村 恒一 氏

株式会社オカムラ食品工業

代表取締役

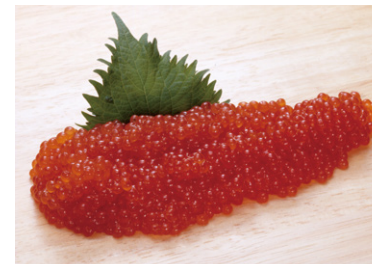
〒030-0912 青森県青森市八重田一丁目6-11

<http://okamurashokuhin.co.jp/index.html>

魚卵およびサーモン関連事業を、原料（養殖）から加工・販売まで一貫して手掛け、グローバルに展開することにより、日本およびアジアの外食産業が抱える共通課題（不安定な原料供給、慢性的な人手不足、不効率なサプライチェーン）の解決に取り組む。



株式会社 **オカムラ食品工業**



Koichi Okamura

大学卒業後、1987年に父が経営する会社へ入社、1997年から現職。青森で産学官協力の中心となり、サーモンの大規模海面養殖を実施している。2017年経産省「地域未来牽引企業」に選定。2018年水産庁が「全国海面サーモン養殖推進協議会」を設立。地域社会と企業の協業への取り組みという弊社方針を国内サーモン養殖のモデル事業として位置付けている。

創造力で世に役立つ新サービスを具現化

木村 隆夫 氏

木村情報技術株式会社

代表取締役

〒849-0933 佐賀県佐賀市卸本町6-1

<https://www.k-idea.jp/>

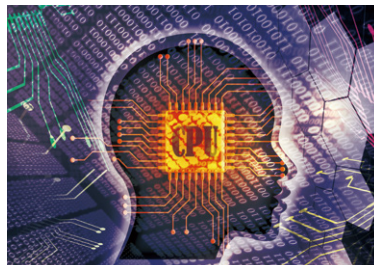
2005年の設立後、Web講演会のライブ配信サービスを新しい形として作り上げ、年間1,500回、延べ50万人の医療関係者に対して医療情報の配信を実施。2016年からは人工知能IBM Watson日本語版のビジネス活用事業に着手し、2018年現在、既に60社以上にAIサービスを導入。今後は更にAIを活用したプラットフォームビジネス等を展開予定。



Takao Kimura

1987年 星薬科大学 薬学部 卒業
1987年 薬剤師免許取得
1987年 山之内製薬株式会社 入社
2005年 山之内製薬株式会社 退職
2005年 木村情報技術株式会社 設立、代表取締役就任 現在に至る

 **木村情報技術株式会社**
KIMURA INFORMATION TECHNOLOGY Co., Ltd.



利用者満足を追求める保育事業

重道 泰造 氏

株式会社アイグラン

代表取締役

〒730-0825 広島県広島市中区光南2丁目1-20

<https://aigran.co.jp/>

「どこまで相手の立場に立てるか」を大切な考えとして、「もし自分が子供だったらどんな保育所だったら明日も来たいと思えるか」「もし自分が保護者だったらどんな保育所だったら仕事と子育ての両立を頑張ろうと思えるか」を常に考え、「子供達そして保護者の一番の応援団になりたい」との想いで保育サービスを提供。



Taizo Shigemichi

1964年 広島県広島市生まれ
1988年 早稲田大学法学部卒業
1995年 有限会社アイ貸テレビ入社・取締役就任
1996年 株式会社アイレンタルに組織変更・株式会社アイレンタル代表取締役就任
2009年 社会福祉法人あい福祉会理事長就任
2011年 株式会社アイグランに社名変更
2013年 株式会社アイグランホールディングス設立

AIGRAN



サービスの流通創造で人々に感動と喜びを

白石 徳生 氏

株式会社ベネフィット・ワン

代表取締役社長

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 JOB HUB SQUARE 9F

<http://www.benefit-one.co.jp>

企業の従業員に向けた福利厚生として
優待サービス「ベネフィット・ステーション」を運営。その主力事業で培った経営
資源を有効活用し、BPO事業のワンス
トップソリューションを通じた企業の経
営課題解決や、サブスクリプションモデル
のサービスマッチングを展開。



Norio Shiraishi

1967年東京都八王子市生まれ。
1989年拓殖大学政経学部卒業後、
一年間の渡米を経てパンナジャパン
入社。1996年社内ベンチャー制度
第1号としてビジネス・コープ(現ベ
ネフィット・ワン)を設立。2000年
代表取締役社長に就任。
JASDAQ、東証二部を経て2018年
11月に東証一部上場を果たす。

世界のジュエリー文化の発展に貢献する。

土橋 秀位 氏

株式会社クロスフォー

代表取締役社長

〒400-0043 山梨県甲府市国母7-11-4

<https://crossfor.co.jp/>

ジュエリーの中に入ったダイヤモンド
だけが振動するように動いたとしたら、
「当社が作ったダイヤモンドジュエリー
は世界一輝く」ということを目指して挑
戦したのが「Dancing Stone」でした。
世の中になくものを創造し、特許を取
得し、世界に向けてパーツの販売を行
う事で、世界中のジュエリーメーカーと
共生するビジネスモデルを確立。



Hidetaka Dobashi

1980年 土屋宝石貿易創業代表
1987年 株式会社シバド(現 株式会
社クロスフォー)設立 代表取締役社
長(現任)
2007年 Crossfor H.K.Ltd 設立
代表取締役
2014年1月 株式会社S.H.ホール
ディングス 代表取締役(現任)
2017年7月 東京証券取引所 JASDAQ
市場上場

エネルギー×インターネットのパイオニア

名越 達彦 氏

株式会社パネイル

代表取締役社長

〒100-6617 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー17F

<https://corp.panair.jp/>

コーポレートミッションは、「世界中のエネルギー市場に最先端のEnergy Techを」。次世代型エネルギー流通基幹システム「Panair Cloud」を開発し、2018年4月、東京電力エナジーパートナー株式会社との共同出資により株式会社PinTを設立。今後も、エネルギー×テクノロジーのパイオニアとして電力業界のみならず、インフラ事業全般のIT化も目指す方針。



Tatsuhiko Nagoshi

1981年山口県岩国市生まれ。東京工業大学工学部 開発システム工学科卒。在学中、鳥人間コンテスト入賞プロペラ機部門に出場、技術統括としてチーム初の優勝に貢献。株式会社ディー・エヌ・エーにおいて、営業、人事、マーケティング、エンジニアリングなど幅広い業務に従事。その後、IT企業の事業開発室長として全社新規事業を統括。2012年株式会社パネイル創業。



テクノロジー×イノベーションで人々に感動を。

樋口 龍 氏

株式会社GA technologies

代表取締役社長

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア8F

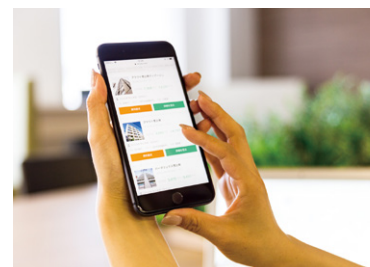
<https://www.ga-tech.co.jp/>

AIを活用した中古不動産流通プラットフォームサービス「Renosy（リノシー）」の運営を中心に、データドリブンでユーザー利便性の高い不動産サービスを提供。また、AIやブロックチェーンなどの専門組織を発足し、アナログな不動産業務の生産性向上と付加価値創造にも取り組む。



Ryo Higuchi

1982年東京生まれ。幼い頃より世界的なサッカー選手を目指し、ジェフユナイテッド市原に育成選手として所属。24歳の時にビジネスマンへ転身し、不動産会社へ勤務。"巨大なマーケットを形成しながらも極めてアナログな不動産業界にテクノロジーで革命を起こす"と志し、2013年に株式会社GA technologiesを設立し、代表取締役社長に就任。



ともにつくる暮らし。カンディハウス。

藤田 哲也 氏

株式会社カンディハウス

代表取締役社長

〒079-8509 北海道旭川市永山北2条6丁目

<http://www.condehouse.co.jp/>

椅子を中心とした木製家具の製造販売を目的に、1968年に北海道旭川市で創業。現在は国内13店舗、世界20カ国・地域に展開。「ともにつくる暮らし。カンディハウス。」をコンセプトとし、北海道の自然と日本の文化に育まれた美意識を、デザインと「ものづくり」に生かし、「心地よい暮らし」を提案。



Tetsuya Fujita

1960年北海道七飯町生まれ。北海道造形デザイン専門学校在学中に、当社のアルバイトを経験したことを縁に、1982年に入社。1998年に製造直販のビジネスモデル構築を推進するブランドショップ(株式会社カンディハウス横浜)として独立起業。2007年に取締役営業本部長として当社に復帰し、2013年代表取締役社長に就任。



外皮用薬の開発提案型ODM製造サービス業

松浦 信男 氏

万協製薬株式会社

代表取締役社長

〒519-2174 三重県多気郡多気町五桂1169-142

<http://www.bankyo.com/>

医療用医薬品から化粧品まで、スキンケア製品に特化して開発・製造・販売を行う製品アウトソーシングサービス企業。顧客は国内外に約100社、製造品目300品目、年間製造個数約3,000万個、年間約50品目の新製品を発表。グループ会社は国内外6社、社員数約1,000名、総売上は約80億円。



Nobuo Matsuura

1962年 兵庫県生まれ
1982年 万協製薬入社
1984年 徳島文理大学薬学部入学のため休職
1988年 同大学卒業、薬剤師免許を取得し復職
1996年 阪神大震災被災後三重県にて再創業し、代表取締役に就任
2012年 三重大学医学部大学院博士課程修了
2018年 グループ会社の釜屋化学工業の代表取締役、タイカマヤの取締役に就任



超オーバースペックで新市場創造と社会貢献

山本 富造 氏

山本化学工業株式会社

代表取締役社長／CEO

〒544-0005 大阪府大阪市生野区中川5丁目13-11

<http://www.yamamoto-bio.com>

世界初の体調改善機器を構築し2018/10/11に開始され今後世界市場へ拡大。世界最速素材SCSを開発し2009年世界水泳で世界新記録の金メダルを37個獲得。トライアスロンでは90%以上のシェア。水泳のフォームを整える水着を開発しトップスイマーの常識に。福島原発事故で拡散したガンマ線を世界一遮蔽する服を開発し人々の安全に貢献。



Tomizo Yamamoto

1985年社長就任、2ヶ月後「米国商務省とアンチダンピング訴訟が初仕事」。2度の超円高「超オーバースペック素材開発を決定」。1996年ウェット素材「薄く高保温性Ti-α開発」。2003年超低抵抗素材「SCS開発」し、トライアスロン市場一変。2009年競泳市場一変し「市場は自ら創り出すコンセプトを強調」。2011年福島原発事故でガンマ線遮蔽服を40日で開発し人命を守る。2018年超高齢社会「予防機器が必須」、体調改善機器を厚生労働省、経済産業省に3年間通い理解を求め10月開始。

YAMAMOTO



生活者中心の市場創造

吉松 徹郎 氏

株式会社アイスタイル

代表取締役社長 兼 CEO

〒107-6034 東京都港区赤坂一丁目12番32号アーク森ビル34階

<http://www.istyle.co.jp/>

アイスタイルは、「生活者中心の市場創造」をビジョンに掲げ、創業来一貫して、インターネットで集めた化粧品ユーザーの声をデータベース化し、マーケティングや流通に反映させる仕組みをつくることに取り組んでいる。現在はコスメ・美容の総合サイト「@cosme」を核に、化粧品EC「@cosme shopping」、化粧品専門店「@cosme store」をはじめとする美容領域の多様な事業を国内外で展開。



Tetsuro Yoshimatsu

東京理科大学基礎工学部卒業。アンダーセンコンサルティング(現:アクセンチュア)を経て、1999年7月にアイスタイルを設立。代表取締役社長就任。同12月、コスメ・美容の総合サイト「@cosme」オープン。2012年、東証一部上場。現在は、アイスタイル芸術スポーツ振興財団を通じ、芸術・スポーツ分野への助成支援なども行う他、経済同友会幹事なども務める。

istyle



歴代ファイナリスト EY Entrepreneur Of The Year Japan

■印は各年日本代表 □印は大賞受賞者 ■印は特別賞 □印は審査員特別賞
(氏名50音順、会社名は受賞時のものを掲載)



2017

■ 河野 貴輝 氏
株式会社ティーケービー

□ 本多 孝充 氏
本多プラス株式会社

□ 河野 雅一 氏
株式会社プロドローン

□ 辻 庸介 氏
株式会社マネーフォワード

■ 柴田 紳 氏
株式会社ネットプロテクションズ

阿部 佳孝 氏
株式会社朝日相扶製作所

樫澤 一 氏
株式会社リエイ

藏本 健二 氏
株式会社フェニックスバイオ

佐藤 秀哉 氏
株式会社テラスカイ

染谷 昇 氏
ソメスサドル株式会社

原田 英世 氏
株式会社カンバーランド・ジャパン

宮本 明岳 氏
株式会社タウ

吉田 剛 氏
株式会社キャロットカンパニー

天沼 聰 氏
株式会社エアークローゼット

今村 勉也 氏
株式会社ユニゾンシステムズ

日下 康幸 氏
株式会社アストロ数理ホールディングス

佐田 幸夫 氏
株式会社I&C

2016

■ 高岡 本州 氏
株式会社エアウィーヴ

□ 古木 大咲 氏
株式会社インベスターズクラウド

□ 鎌田 和樹 氏
UUUM株式会社

■ 伊藤 朋子 氏
inQs株式会社

■ 長沼 昭夫 氏
株式会社きのとや

■ 中村 創一郎 氏
株式会社Looop

石川 伸 氏
株式会社おとうふ工房いしかわ

井元 憲生 氏
株式会社バリュープランニング

上野 隆一 氏
株式会社ウエノ

住谷 栄之資 氏
KCJ GROUP株式会社

棚橋 一成 氏
株式会社タナック

常包 浩司 氏
eBASE株式会社

中正 雄一 氏
株式会社グローバルグループ

藤田 恭嗣 氏
株式会社メディアドゥ

久田 康弘 氏
株式会社Liquid

久保田 雅俊 氏
株式会社サーキュレーション

小清水 丈久 氏
株式会社寿美家と久

小松 隆史 氏
株式会社ナノグレイズ

寄本 晋輔 氏
株式会社SOU

島田 昌之 氏
株式会社広島クライオブリザ
ーションサービス

藤森 直治 氏
株式会社イーティービー

古川 浩 氏
PicoCELA株式会社

柳橋 仁機 氏
株式会社カオナビ

山本 敏行 氏
ChatWork株式会社

2015

■ 筒井 宣政 氏
株式会社東海メディカル
プロダクツ

□ 岩元 美智彦 氏
日本環境設計株式会社

■ 野口 和輝 氏
株式会社N・フィールド

■ 遠藤 優介 氏
株式会社遠藤商事・Holdings.

内山 幸樹 氏
株式会社ホトリック

木下 勝寿 氏
株式会社北の達人コーポレーション

久世 良太 氏
株式会社サンクゼール

古俣 大介 氏
ビクスタ株式会社

中川 淳 氏
株式会社中川政七商店

中村 誠司 氏
中央電力株式会社

西澤 亮一 氏
株式会社ネオキャリア

能作 克治 氏
株式会社能作

長谷川 純代 氏
株式会社グラフィコ

福田 幸雄 氏
株式会社アスカネット

宮川 洋 氏
株式会社イード

山田 理恵 氏
東北電子産業株式会社

吉野 佳秀 氏
ベステラ株式会社

青木 隆幸 氏
SORABITO株式会社

上村 一行 氏
株式会社アイアンドシー・クルーズ

阪根 信一 氏
seven dreamers laboratories株式会社

佐野 徹朗 氏
アカウンティング・サース・ジャパン株式会社

新美 秀哉 氏
World Japan株式会社

林 隆弘 氏
HEROZ株式会社

春山 慶彦 氏
株式会社セフリ

松本 恭暁 氏
ラクスル株式会社

南 壮一郎 氏
株式会社ビズリーチ

宮本 健治 氏
株式会社コーウェル

2008

■ 石橋 博良 氏
株式会社ウェザーニューズ

石黒 不二代 氏
ネットイヤーグループ株式会社

中山 廣男 氏
デフコ青森株式会社

深田 智之 氏
株式会社くつろぎ宿

福田 章一 氏

株式会社ウエルシイ
宮澤 栄一 氏
株式会社デジタルハーツ

松下 喜彦 氏
西村 登 氏
オリエンタルシステム株式会社

2007

■ 隣 良郎 氏
株式会社エヌ・ピー・シー

□ 浅野 邦子 氏
株式会社滔一

兼元 謙任 氏
株式会社オウケイウェイヴ

木南 陽介 氏
株式会社リサイクルワン

菅原 雅史 氏
インスペック株式会社

瀬戸 欣哉 氏
株式会社MonotaRO
村井 哲之 氏
株式会社コスト削減総合研究所
山田 慶太 氏
アサカ理研工業株式会社

2006

■ 鈴木 清幸 氏
株式会社アドバンスト・メディア

小方 功 氏
株式会社ラクーン

笠原 健治 氏
株式会社ミクシィ

鎌田 雅彦 氏
SBS ホールディングス株式会社

坂巻 千弘 氏
株式会社バリオセキュア・ネットワークス

佐藤 英児 氏
株式会社プロデュース

高島 宏平 氏
オイシックス株式会社

松田 正男 氏
株式会社拓人

松藤 展和 氏
アップコン株式会社

三本 守 氏
株式会社タケイ

森 正文 氏
株式会社一休
吉原 直樹 氏
株式会社アルテサロンホールディングス

渡辺 忠一 氏
フロンティア・ラボ株式会社

2005

■ 杉本 哲哉 氏
株式会社マクロミル

梶本 修身 氏
株式会社総合医科学研究所

小森 伸昭 氏
アニコムインターナショナル株式会社

高橋 巖 氏
株式会社ホープ

谷本 肇 氏
リアルコム株式会社

長谷川 博之 氏
株式会社ヒューモニー

平山 啓行 氏
株式会社ゼクス
山崎 伸治 氏
株式会社シニアコミュニケーション
山田 太郎 氏
ネクステック株式会社

2004

■ 坂本 孝 氏
ブックオフコーポレーション株式会社

江尻 義久 氏
株式会社ハニーズ

榊原 暢宏 氏
ジャパンベストレスキューシステム株式会社

猿渡 肇 氏
海麟丸ビール株式会社

土井 宏文 氏
株式会社ジャパン・デジタル・コンテンツ

野坂 英吾 氏
株式会社トレジャーファクトリー

鉢嶺 登 氏
株式会社オプト

春山 満 氏
株式会社ハンディネットワーク
インターナショナル

宮田 尚彦 氏
朝日インテック株式会社

山口 昭 氏
株式会社木の城たいせつ

2003

■ 石川 光久 氏
株式会社プロダクション・アイジー

安達 一彦 氏
株式会社インテリジェントウェイブ

小笹 公也 氏
株式会社オンテックス

國光 浩三 氏
株式会社EMシステムズ

佐藤 元則 氏
株式会社アイエスアイ

関田 仁志 氏
サイバーレーザー株式会社

孫 大雄 氏
株式会社オプトラン

本村 昌次 氏
株式会社スタジオアリス

森下 篤史 氏
株式会社デジボスバスターズ

2002

■ 新藤 次郎 氏
株式会社セラータムテクノロジ

進藤 晶弘 氏
株式会社メガフュージョン

鳥谷 浩志 氏
ラティス・テクノロジー株式会社

中島 武 氏
際コーポレーション株式会社

中富 一郎 氏
ナノキャリア株式会社

堀 主知 ロバート 氏
株式会社サイバード

山本 雪雄 氏
エム・アンド・エス・ファイン
テック株式会社

横石 知二 氏
株式会社いどり

2001

■ 飯塚 哲哉 氏
ザインエレクトロニクス株式会社

石橋 博良 氏
株式会社ウェザーニューズ

井出 剛 氏
株式会社トランスジェニック

大谷 真樹 氏
株式会社インフォブランド

平澤 創 氏
株式会社フェイス

山田 眞次郎 氏
株式会社インクス

吉田 直樹 氏
株式会社ウェッジ

過年度受賞者からのメッセージ



空間再生流通事業で 日本を代表する世界企業を目指す

株式会社ティーケーピー 代表取締役社長
河野 貴輝 氏

日本代表としてモナコで開催された「EY World Entrepreneur Of The Year™ 2018」に出場し、世界という大舞台で、TKPの創業にいたるストーリーや、今後世の中にどのように貢献したいのかを語る機会をいただいたこと、また貧困などのハンディやあらゆる逆境を乗り越えて成功された各国を代表する起業家に会い、「社会に必要とされる事業をもっと多く行いたい」「私(TKP)ができることはもっとある」という思いを強め、自分自身をより深く見つめ直したことは、私の人生でこれ以上ない刺激となりました。

当社は法人向け貸会議室ビジネスを起点に、遊休不動産を有効活用して空間を再生し、そこに付加価値を加えた快適な「場」「空間」「時間」を創出する空間再生流通事業を展開しています。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」という近江商人のモットーを、私は常に心に留めて置くようにしています。売り手と買い手がともに満足し、また社会貢献もできる商売でなければ、決して長続きしません。

また私が同じく大事にしていることは、失敗を恐れずチャレンジすることです。私は50%の成功確率があればチャレンジするように心がけています。当社は「スピード重視 チャンスはGet、挑戦・撤退の決断」という行動指針を定めており、もちろんリスクは最小限に抑えながらも、小さなリスクはどんどん取って、ダメだと判断したらすぐに撤退し、失敗は次への糧としながら、大きく生んでいくことが重要であると考えています。

当社のビジネスモデルはオーナーが使えずに困っている物を有効活用し、収益化するということが大原則です。今まででも多くの不稼働資産を活性化させ、社会の「もったいない」を無くしてまいりました。今後は今まで培った顧客基盤をうまく活用し、今まで誰も成し得なかった事業再生の分野にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。モナコでの世界大会、ここは私にとってのパワースポットです。このときの経験や興奮を日本で発揮し、実業で名実ともに日本を代表とする世界企業を目指します。そして私のマインドを伝え、若手社員のアントレプレナー魂に火をつけることに挑戦していきます。

このような機会をいただいたEY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパンの皆様へ感謝を申し上げますとともに、本年の受賞者の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



モナコの誓い & アントレは一年後が面白い!

本多プラス株式会社 代表取締役社長
本多 孝充 氏

一年前、参加者の中で唯一タキシードを身に纏い、私はEY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2017 ジャパンのステージに立った。これで何も受賞できなかったら実に恥ずかしい、とドキドキしながらも、皆様のおかげで、アクセラレーティング部門大賞とグローバル・エクスペリエンス・モナコ賞をいただいた。あの日からはや一年。結局私はあのリッツのステージにずっと立ち続けていた。まさにそんな一年であった。

『アントレは一年後が面白い!』 私はそう思う。

受賞の有無に関わらず、経営者として実に感慨深い経験ができた。

グローバル規模での自社の事業価値、社会貢献度とは一体何なのか?

その答えを求め続けたこの一年、新たな経営戦略を思いつく度に、頭の中で審査員の方々の前でプレゼンをして来た。

そして6月、私は名刺代わりに持参した世界最薄のカード型プラスチック香水容器とシャンパングラスを手に、意気揚々とモナコのパーティー会場にいた。

『私の容器に入れたら売れる!』 その決め台詞で海外の化粧品ブランドの起業家等と接し、その好反応とシャンパンに酔い3日間を楽しんだ。

そんな時、奮発したブルゴーニュワインを手に地中海を眺めていると、目前に可愛いカモメが飛来した。しばらく青い海を背景にそれを眺めていた。憧れた地中海、モナコの何気ないひと時だった。が、一瞬でガツンと突っ込まれた。

『兄さんあんた売れりゃそれで良いんか!』

モナコのカモメにそう言われた気がした。

売れるだけじゃだめなんだ!

俺の容器は愛される。捨てたくない! 捨てさせない! そんなサスティナブルな社会の実現のために事業活動がしたい! 長く長く愛される、なくてはならない世界のブランドにならなきゃいけないだ!

私はモナコでそう誓った。

EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2018 ジャパンご受賞の皆様、誠におめでとうございます。皆様の今後益々のご活躍を、心より楽しみにしております。

そして、皆様の事業が海を渡り、世界をリードする起業家となられる事を、同じステージに立った起業家として祈っております。

審査委員

氏名50音順

審査委員長



出井 伸之 氏

クオンタムリープ株式会社 代表取締役 ファウンダー&CEO
元ソニー株式会社 会長 兼 グループCEO

1960年早稲田大学卒業。ソニー株式会社に入社。入社後はスイス駐在、ソニーフランスの設立など主に海外事業に従事。帰国後オーディオ、コンピュータ、VTRなどの事業本部の責任者を歴任したのち、1989年取締役就任。1995年から2000年まで社長兼COOとして、2000年から2005年までは会長兼グループCEOとして、約10年にわたりソニー経営のトップを担った。2005年6月会長兼グループCEOを退任後、2006年9月にクオンタムリープ株式会社を設立、代表取締役 ファウンダー&CEO就任、現在に至る。

審査委員



高岡 本州 氏

株式会社エアウィーヴ 代表取締役会長兼社長
EOY2016 Japan 日本代表

1960年名古屋生まれ。名古屋大学工学部応用物理学科卒業後、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了(MBA)。父上の会社日本高圧電気入社。スタンフォード大学大学院に留学し、経済システム工学科修士課程修了。98年日本高圧電気代表取締役社長就任(現任)。
2004年に赤字経営であった叔父の経営する株式会社中部化学機械製作所(現 株式会社エアウィーヴ)を引き継ぎ、マットレスパッド「エアウィーヴ」を開発。07年同社代表取締役社長に就任。2017年より現職。



谷本 有香 氏

フォーブス ジャパン副編集長

証券会社、Bloomberg TV、日経CNBCで金融経済アンカー／コメンテーターとして従事。米国MBA取得。これまで、トニー・ブレア元英首相、ハワード・シュルツ スターバックス会長兼CEOをはじめ、3,000人を超える世界のVIPにインタビュー。また、現在、TBS「ビビット」の木曜コメンテーター他、テレビ出演多数。跡見学園女子大学兼任講師。著書に「世界のトップリーダーに学ぶ一流の『偏愛』力」(ディスカヴァー・トゥエンティワン)他。



西澤 昭夫 氏

日本ベンチャー学会会長／
東洋大学経営学部教授／NICHe客員教授

筑波大学大学院社会科学部経済学専攻博士課程単位取得退学、1982年日本合同ファイナンス株式会社(現JAFCO)入社、JAFCO1号投資事業組合設立に従事、企画部長などを経て、1997年東北大学大学院経済学研究科教授(ベンチャー企業政策担当)、NICHe副センター長、東北大学TLO社長、総長特別補佐(利益相反マネジメント担当)、副理事などを歴任、2005年米国AUTMよりBayh-Dole Award授与、2013年東洋大学経営学部教授、東北大学名誉教授、2016年日本ベンチャー学会会長。



福本 拓也 氏

経済産業省 経済産業政策局 産業資金課長 兼 新規事業調整官

1996年、通商産業省入省。経済連携交渉や中小企業政策に従事。2008年から4年間「在欧日系ビジネス協議会」事務局長に選任。2012年7月より経済産業省企業会計室長として、企業会計や情報開示等を担当。「伊藤レポート」とりまとめなどに携わる。2015年7月より現職。「FinTechビジョン」や「リスクマネー研究会」、ローカルベンチマーク活用戦略会議等を担当。2018年6月からは「J-Startup」プロジェクト事務局としてベンチャー企業のグローバル展開等を支援。



藤森 義明 氏

CVCキャピタルパートナーズ日本法人 最高顧問／
株式会社LIXILグループ 相談役／武田薬品工業株式会社 社外取締役／
ポストン・サイエンティフィックコーポレーション 社外取締役／
日本オラクル株式会社 取締役会長

1975年東京大学工学部卒業。同年日商岩井株式会社(現 双日株式会社)入社。その後、1986年に日本ゼネラル・エレクトリック株式会社に転じ、ゼネラル・エレクトリック・カンパニー シニア・バイス・プレジデントを経て、2008年日本ゼネラル・エレクトリック株式会社取締役会長兼CEOに就任。2011年株式会社住生活グループ(現 株式会社LIXILグループ)に移籍し、代表取締役会長兼CEOを歴任。2016年より公益社団法人経済同友会にて行政・制度改革委員会の委員長を務める。



渡辺 洋行 氏

B Dash Ventures 株式会社 代表取締役社長／
日本ベンチャーキャピタル協会 常務理事

株式会社三和総合研究所(現:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)入社後、IT・インターネット分野の調査研究業務及び国内外のコンサルティング業務に従事。三菱UFJ キャピタル株式会社投資部次長、ngi group 株式会社(現:ユナイテッド株式会社)投資事業本部長を経て、2011年にB Dash Ventures 株式会社を設立。同年、インターネット分野のスタートアップを主な投資先とするB Dash Fund を運用開始。現在合計3本のファンドを運用。